

～ 院長コラム ～

下痢型過敏性腸症候群、 抑うつに小建中湯が効いた 1 例

18歳男子。

2年前から下痢型過敏性腸症候群で総合病院に通院中です。

柴胡桂枝湯(さいこけいしとう)を内服中。

空手2段の腕前の男子です。

当院には昨年(平成28年)3月に初診で来られました。

にきび顔、口唇が渇く、冷えなし、毎日5回軟便あり、腹痛は時々、おなかがゴロゴロ鳴る、おならが多い、寝つきが悪く、嫌な夢をよく見る、朝早く目が覚める、憂鬱で色々心配、不安もある

おなかがゴロゴロ鳴るのを頼りに半夏瀉心湯(はんげしゃしんとう)を試しました。

1週間後、軟便があるも困らない感じ、ガスが多い、中断していた空手をやり始めた。

香蘇散(こうそさん)を追加した。

4月に高3になった。

母のみ来院され、話を聞くと、朝起きて2回下痢、学校に行くと3回軟便、おならが変わらず出る、自宅では調子いい。

緊張すると、おなかが調子悪くなるのだろうと思っていますと。

桂枝加竜骨牡蛎湯(けいしかりゅうこつぼれいとう)に変更したところ、

「今までの中で一番いい！下痢があるが気にならない、長時間の模試でも大丈夫だった」。

7月には1日2回で下痢、軟便は落ち着き、調子が良かった。

12月に入って大学受験が近づいてきたら、模試の途中で腹痛が起こり退席した。

内科を受診しコロネル、心療内科を受診しメイラックスを処方された。

メイラックスは眠気が強くて勉強に差し支える。

12月中旬に久しぶりに本人が受診されました。

受験を前にして気分が落ち込み、暗い、おなかが治らない、、、。

おなかがすぐ緊張するので小建中湯(しょうけんちゅうとう)でしようかと、1日3回で開始しました。

そうしたら、何と飲んですぐに明るくなって、元気になった、自分で“普通になったよ”と言った、うつっぽいのはどこかへ行ってしまったようです。

お母さんは大喜びです。

センター試験も無事終わり、2月は私立大学の受験があります。

3月に希望の大学の受験が控えています。これなら、自分で乗り越えられそうです。

小建中湯で抑うつ状態が治ることがあります。

現在腸内細菌叢の方から説明できるようになってきています。

ここまで劇的に早く状態が改善するとは思わなかったもので、私もうれしかったです。

漢方ファン

— Vol. 3 (2017年2月) —



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

 なかしまこどもクリニック